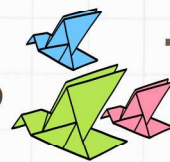




ちょこっと インタビューしてみた！！ 趣味の折り紙のち・か・ら



2025
11
NOVEMBER

こんにちは、今回ベテルホーム事務課が担当です。夏祭り、10月のハローウィン、12月のクリスマス等の1年間通じたイベントでご利用者、職員、見学者等から大好評のイベント装飾！！

『これ折り紙？』『インスタ映えする！可愛い』装飾に携わる職員にインタビューしてみました。

素敵な
作品たちの裏側

季節ならではの作品 月替わりで毎年バージョンアップ！！

先月はハローウィンのイベント装飾です。毎月、本当に季節感満載で楽しませてもらえるんです！ご利用者、皆さんが喜んで写真撮影。でも、こんな素敵な装飾作品になるまでには歴史があったみたい。

介護福祉士 山中さん



実は・・・ストレス解消から
始まった趣味の折り紙！

『やらされてる感』から
『自分のやりがい』へ



介護福祉士の仕事と認知症のお母さんの介護を両立されながら、自分時間として短時間で集中できる、ストレス解消で始めたのがきっかけ。



壁飾りを褒められ、レク活動担当へ。趣味が義務になりしんどい時期もあった様子。「好きなこと」を出発点に深めていけたことで今は自分の職場のやりがいに変化。



褒喜び・達成感
共有

今ではオリジナル作品や
利用者の提案で新作誕生！

利用者と自分との共同制作が

形になる創造の喜び♪達成感♪

何年も一緒に作る仲間（利用者）は、仲間（利用者）同士で教えあい、時に新しい提案、それが作品になった時には共に喜ぶ！！

季節感ある美しい装飾は、他の人や見学者からきれいと言われる。翌月に家に持って帰ると、家族、孫にも褒められ時には作品と孫との写真を持ってくる。また喜びを分かち合う。

ご利用者・職員の関係性の垣根を超えた『折り紙』仲間となり喜びが倍増していくそうです♪



楽しい+嬉しい+綺麗+喜びがつながる

『生きる力』
老いること

専門性 × 個性 の掛け算
職場で欠かせない存在

体力が衰えても自分にできること

現在59歳。体力気力の衰えを感じ、持病も出てくる年齢。自分自身が自信をなくし『老いる』不安を感じていたそうです。専門職として自分だからできる技術や役割を『好きなこと』から見いだせるとは思っていなかったと。

折り紙は手先を動かし、手順を考え、アイデアを出し合う、認知症、介護予防にもつながる。それだけではなく、一緒に作ることで自然に会話が生まれ達成感ややりがいの共有もできる。

『折り紙』は時に個人の心の『よりどころ』となり、時に仲間との『居心地のいい空間』を見いだせる。山中さんの『折り紙』の力と介護の掛算から見出された『ここにある豊かさ』の価値はこれからの人生100年時代の生きる力のヒントになるかも・・・。



地元ならではの秋にはぶどうが実る



何人かのご利用者が綺麗だからほしいと！
持って帰った方もいますよ。



花火も提灯 繊細な模様



12月
クリスマス会

近くで見るとより美しい

